



今月の主な目次

- 雪印飼料計算システムVer. 5のご紹介
- トウモロコシサイレージの現状と課題点
- 農協運営によるTMR事業の紹介
- 夏場のTMウェットを用いた乳成分維持

時の話題

北米の粗飼料の生産動向について

北米ではアルファーを始めとした乾牧草の新物生産の真っ盛りといったところですが、本年は、国際的なオイル相場の高騰及び米国内の乳価の上昇更には穀物相場の高騰という、乾牧草価格の上昇要因と成り得る、懸念材料が種々出現しております。以下その情況についてご報告させていただきます。

1. オイル価格高騰による影響

不安定な中東情勢及びイラク情勢を背景にオイル価格が急騰しております。産地においても以下のような影響が出ています。

①トラック代の値上げ

産地生産者は牧草類の運送コストアップを訴えており、今後の産地価格の上昇に繋がるものと懸念されます。

②牧草ラップ代の値上げ

現在トン当たり8ドルのラップ代となっておりますが、産地では6月分船積みより2ドルの値上げを申し入れてきております。

2. 米国乳価及び穀物相場高騰の影響

①米国乳価の現状

現在の米国内乳価は約20ドル/100ポンド(100ポンドは約45KG)となっており、1年前の2倍に及ぶ高水準となっております。米国ではここ暫くの間乳価低迷が続いておりましたが、昨年5月のカナダでのBSE発生以降、カナダから米国への雌の仔牛の輸入が禁止され、これにより米国内乳牛の飼養頭数が減少した結果、昨

関連資料 米国の乳牛頭数と生産量の変化は

全米1-3月

	乳牛頭数	1頭搾乳量 (ト)	生乳生産量 (ト)
2003年1-3月	9,144,000	2.136	19,535,793
2004年1-3月	8,991,000	2.154	19,362,974
増減(%)	-1.67	0.80	-0.88

酪農主要20州 3月単月

	乳牛頭数	1頭搾乳量 (ト)	生乳生産量 (ト)
2003年3月単月	7,810,000	0.756	5,903,058
2004年3月単月	7,714,000	0.751	5,795,103
増減(%)	-1.23	-0.61	-1.83

年末より乳価が急騰しています。

②牧草マーケットへの影響

収入が上がり購買力をつけた酪農家の、良質な牧草への需要が強くなっています。米国内の酪農に広く使われている、アルファーが一番大きな影響を受けそうです。すでに南カリフォルニアのアルファー相場は昨年比20ドル以上の高値になっております。

③穀物相場高騰の影響

米国内のアルファーのマーケットは過去2年間は乳価と連動するように低迷しておりましたが、穀物相場の高騰で、穀物への転作を図る農家が多く、本年はアルファーの生産量減少が予想されておりました。更に追討ちをかける様にワシントン州では新物の1番刈りの5割~6割が雨に当たり1番刈りの不足が伝えられております。ワシントン州のアルファー新物価格は昨年よりもかなり強含みの展開が予想されております。

(飼料部 茅野拓也)